



1

屏風と染絵額



2



3



4



5

2022年4月5日(火)⇒6月19日(日)

型染で挑んだ、芹沢銈介の「絵」の世界。

静岡市立 芹沢銈介美術館

静岡市駿河区登呂五丁目 10-5 (登呂公園内)

TEL ▶ 054-282-5522 HP ▶ www.seribi.jp

Twitter ▶ @seribi_shizuoka (フォローはこちら⇒)





型染という日本の伝統的な染色技法を使いながら絵画的な表現を追求した芹沢銑介。大きな型紙に絵を描くように模様を彫り、屏風や染絵額といった大きな画面の型染作品を数多く生み出しました。また同じ型紙でも、色差し(配色)や表装によって全く異なる印象の作品にするなど、創作的な型染に挑戦しました。

1976年にフランス・パリの国立グラン・パレで開催された「Serizawa」展では、「中世のステンドグラスを思わせるような健やかな華麗さがあり、祈るような心地にさせられた」「この類い稀な染色物の位置を、マチスの切り紙と列べておくのは、あながちに間違いとはいえない」などと、その芸術性が高く評価されました。

この企画展では、「屏風」と「染絵額」という芹沢が手がけた「染絵」の世界を特集します。屏風10点、染絵額25点を一挙公開。芹沢が切り開いた、型染による「絵」の世界をどうぞお楽しみください。



記念日にご来館
いただいたお客様
には、オリジ
ナル絵はがきを
差し上げます。

5/13

芹沢銑介 誕生日

静岡市名誉市民である芹沢銑介は、1895(明治28)年5月13日、静岡市葵区本通で生まれました。今年で生誕127年です。

6/15

芹沢銑介美術館 開館記念日

41年前の1981(昭和56)年6月15日、静岡市駿河区の登呂公園内に芹沢銑介美術館が開館しました。

●ワークショップなどのイベントを開催する予定です。詳しくはホームページやTwitterをご覧ください。お電話にてお問い合わせください。
●新型コロナウイルス感染防止対策へのご協力をお願いします。

同時開催

芹沢銑介が集めた世界の絵画

後半の展示室3室には、芹沢銑介が集めた“絵”を特集します。染色、木工、書籍、陶磁器など、世界各地の様々な工芸品に現れた絵画表現をお楽しみください。

蜜蜂巣箱の蓋(イラン)▶



【開館時間】9:00~16:30

【休館日】毎週月曜日、5/6

【観覧料】一般420円/高校生・大学生260円/
小学生・中学生100円/未就学児無料

(団体割引は30名以上でご利用いただけます)

※静岡市内在住の70歳以上の方・小中学生(通学含む)無料

※障がい者手帳等の提示により本人及び同伴者1名無料

【交通】

<バス> 静岡駅南口22番バスのりばから「登呂遺跡」行き乗車、約12分終点下車

<タクシー> 静岡駅南口から登呂公園へ約10分

<東名高速> 静岡I.C. または日本平久能山スマートI.C. より約10分

<駐車場> 登呂公園南側に有料駐車場があります
(普通車400円/1日)



静岡 芹沢銑介美術館

静岡市駿河区登呂五丁目10-5(登呂公園内)

TEL▶054-282-5522 HP▶www.seribi.jp

Twitter▶@seribi_shizuoka (フォローはこちら⇒)



【表の作品】1「文字入四季文四曲屏風」(1954) 2「机辺静物」(1964) 3「染織陶紙四曲屏風」(1961)
4「ぼんどり図四曲屏風」(1957) 5「モザイク文」(1968)